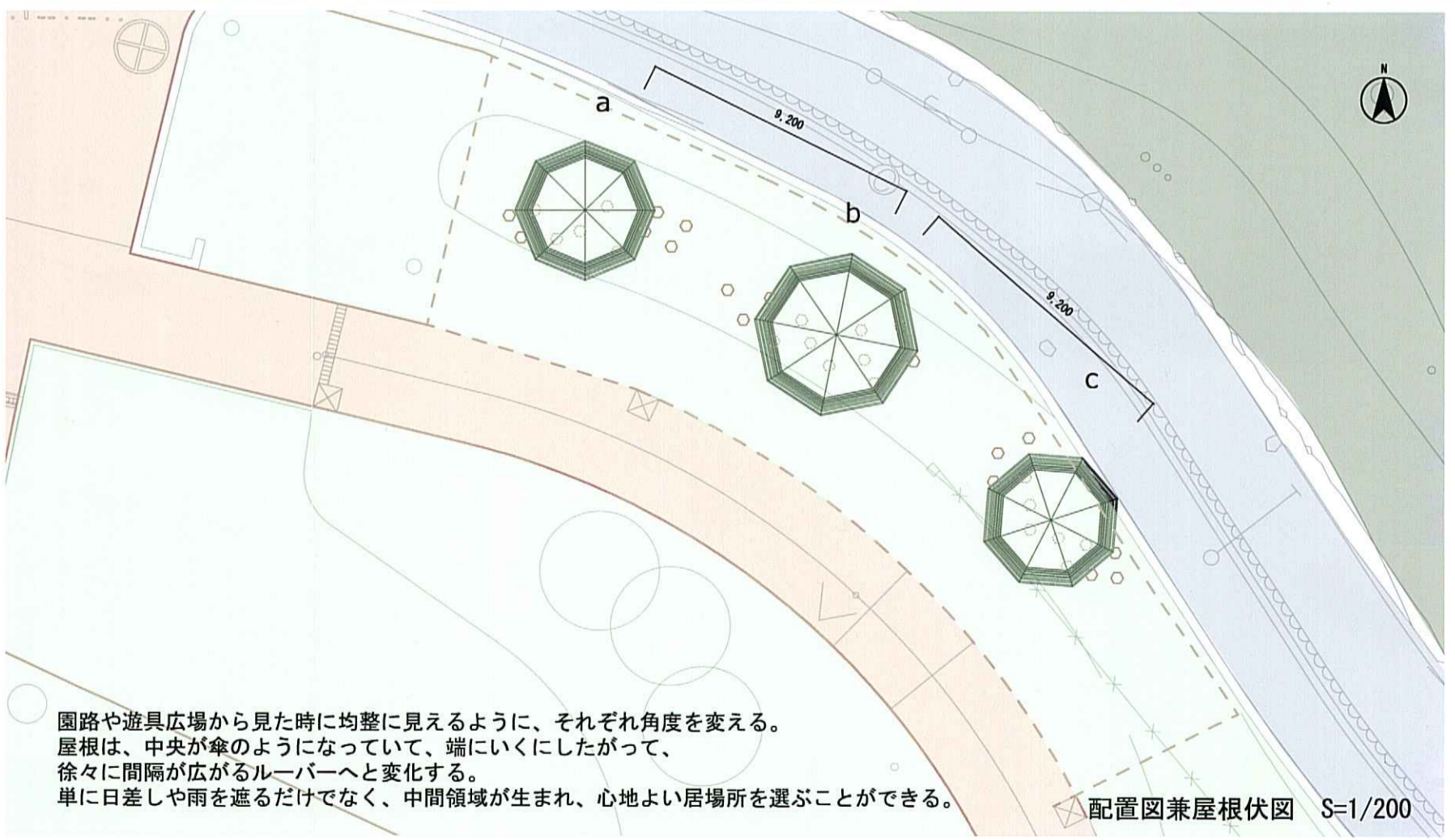


広場を望む 憩いの並木

周辺の木々や公園の自然に馴染む、「樹」をイメージした休憩所。
丸太の柱は「幹」を、斜材は広がる「枝」を表現し、屋根の端をスリット構造にすることで、やさしい木漏れ日のような光を取り入れる。
スツールは、樹の根元に群生する植物。4通りの高さをランダムに配置することで、使う人やシーンを限定せず、子ども用の椅子・大人用の椅子・踏み台・テーブルなど様々な用途に活用する。屋根は八角形、椅子は六角形とし、どの向きからでも使用可能にした。
計画地の緑を活かし、公園の地形・周辺の自然・利用者の人々に寄り添う。
木が枝を伸ばして多くの人の憩いの場所となるように、この休憩所も、この場に根付いて多様な人々が心地よく過ごせるような空間としたい。

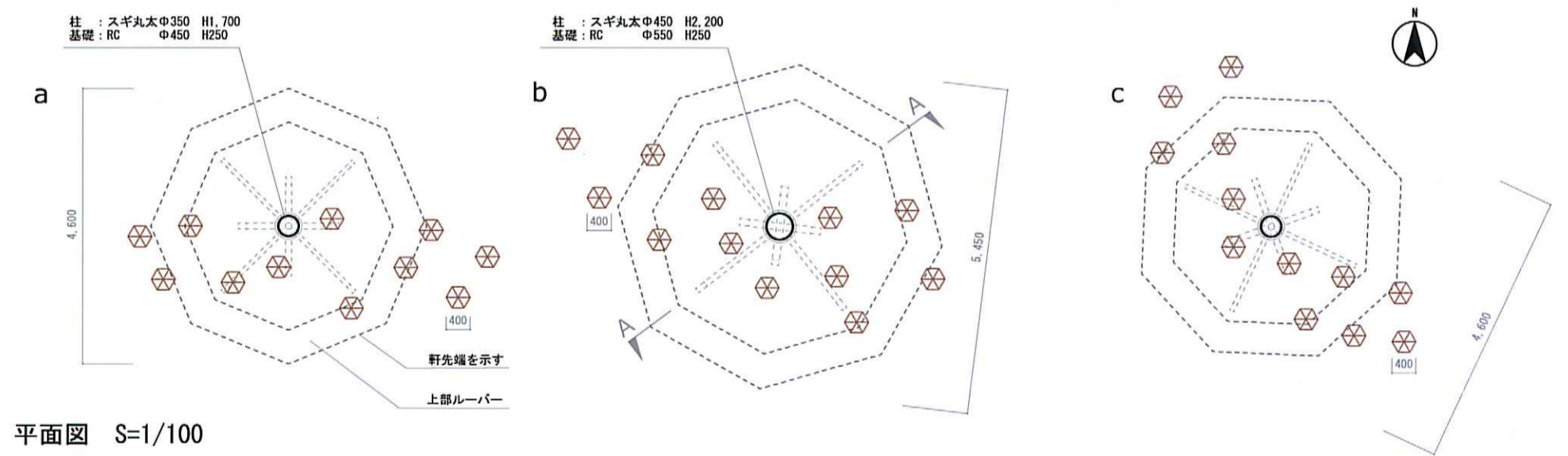


園路に沿って3つの屋根を配置し、中央を大きく左右を小さくしている。スツールは柱を中心に左右に広がるように設置し、季節や時間に応じて日陰の部分と日なたの部分をつくる。



園路や遊具広場から見た時に均整に見えるように、それぞれ角度を変える。屋根は、中央が傘のようになっていて、端にいくにしたがって、徐々に間隔が広がるルーバーへと変化する。単に日差しや雨を遮るだけでなく、中間領域が生まれ、心地よい居場所を選ぶことができる。

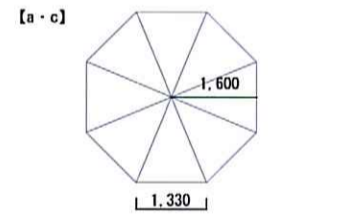
配置図兼屋根伏図 S=1/200



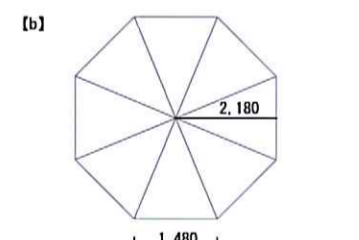
平面図 S=1/100

建築概要	建築面積	a・c 8.51㎡, b 12.90㎡	計 29.92㎡
屋根材	スギ板 t=50	ルーバー部分: スギ角材 50×50	
斜材	スギ角材	[a・c] 中心・上部: 100×100, 下部: 70×70	[b] 中心・上部: 120×120, 下部: 90×90
構造	基礎: RC、	本体: 木造、	スツール: 鋼パイプ・木
	ルーバー間隔 (中央→端)	[a・c] 10, 20, 30, 40, 50, 70 (mm)	[b] 10, 20, 33, 45, 60, 75 (mm)

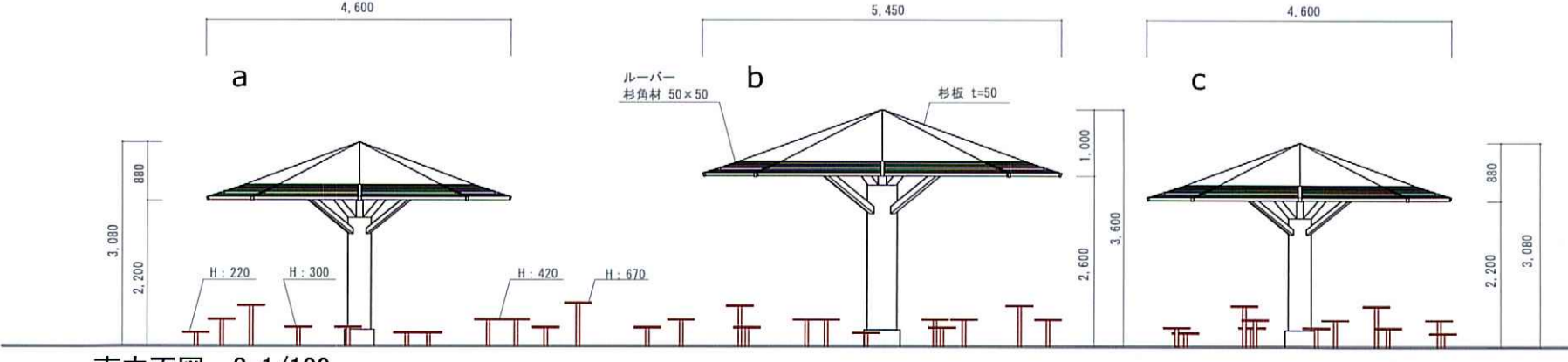
面積算定 ※ルーバー部分を除く



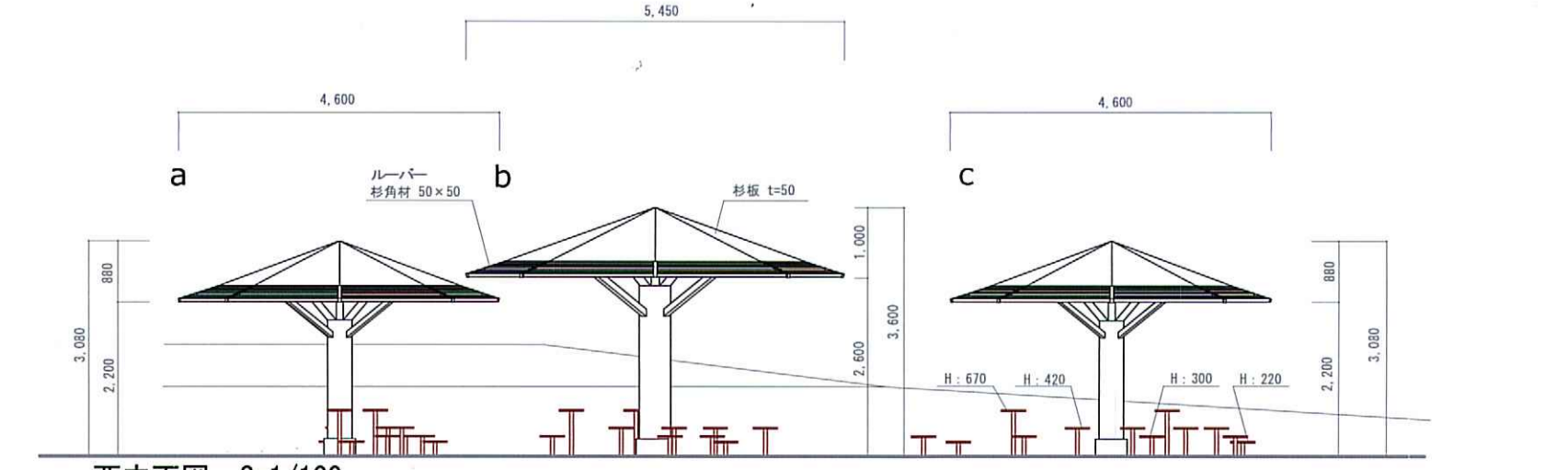
$1.33 \times 1.60 \times 1/2 \times 8 = 8.51 \text{ m}^2$



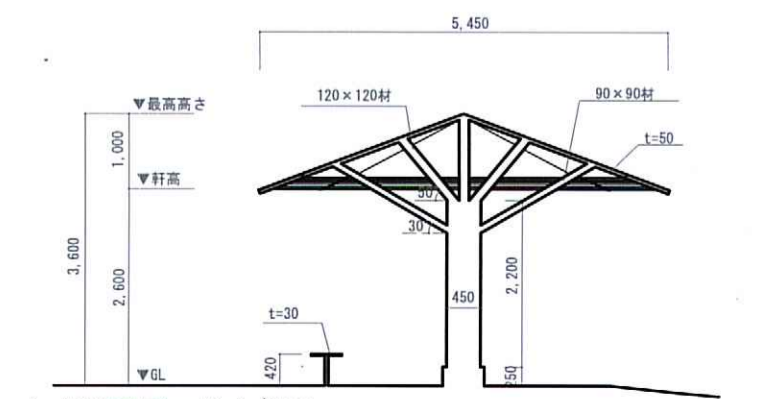
$1.48 \times 2.18 \times 1/2 \times 8 = 12.90 \text{ m}^2$



南立面図 S=1/100



西立面図 S=1/100



A-A断面図 S=1/100